



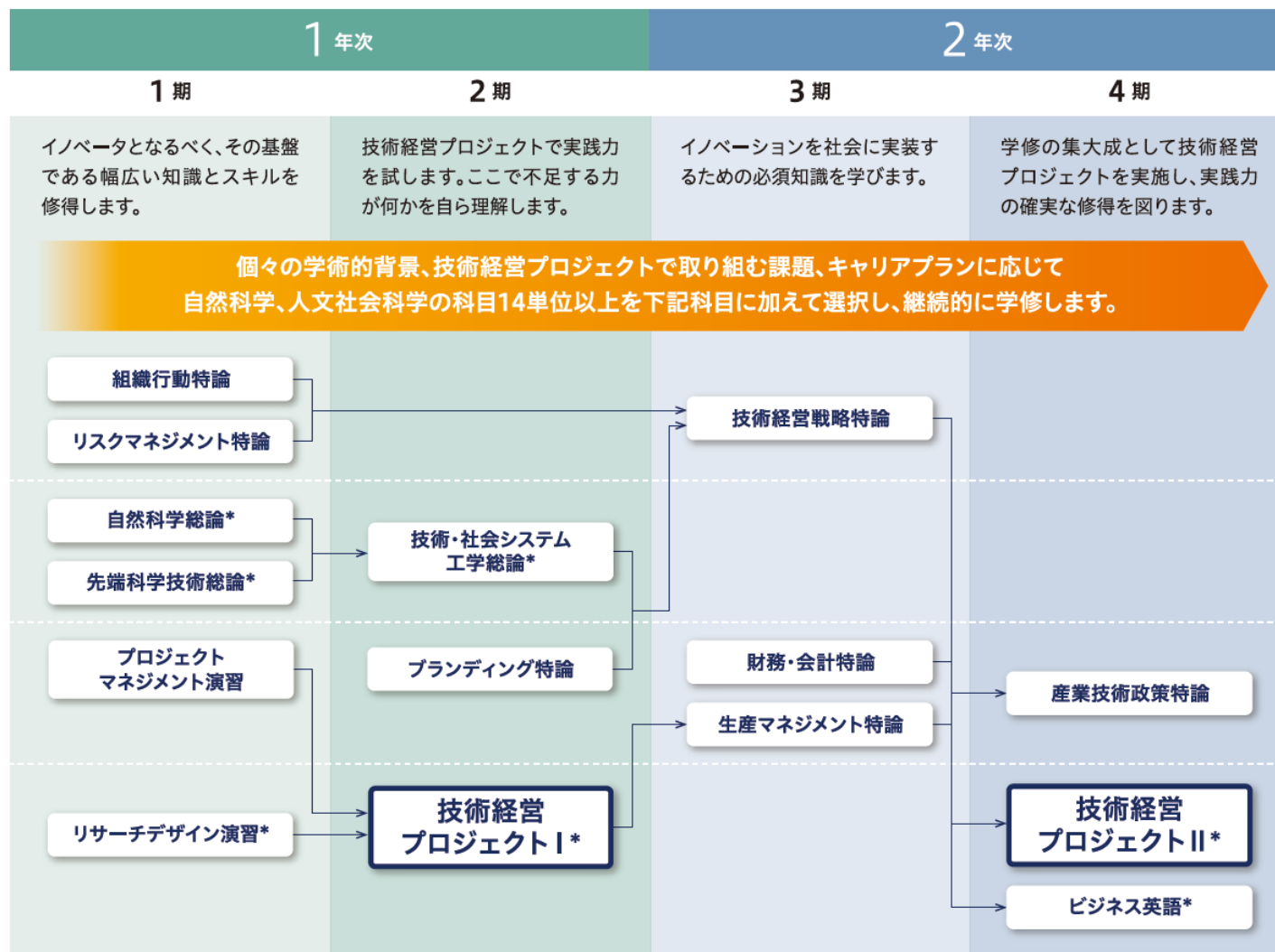
新潟大学大学院自然科学研究科材料生産システム専攻

社会システム工学コース

令和3年4月開設

社会システム工学コースでの履修内容

履修の流れ (*は必修科目)



技術経営プロジェクトI・II

教室で学んだ知識とスキルをもとに、企業等と学生、教員がチームを組んで課題解決に取り組めます。

約2年間にわたってPDCAサイクルを繰り返すことで、学生はイノベーション実践力の修得を図ると同時に、企業等においては経営力、技術力、人材育成力、ネットワークなどの総合的レベルアップが期待されます。



企業等

社会における存在意義の理解
具体的な経営課題の抽出

学び合いによる
組織と人材の育成

社会システム工学コース

社会と技術・科学に関する
高度な理解

適切な目標設定と
課題解決手法の探索

技術経営力

企業等と社会システム工学コースが連携し
課題解決計画の立案・実践・評価・改善を繰り返すPDCAサイクルを通じて

持続的発展に不可欠なイノベーションの創出、
社会の発展につなげる。

技術経営プロジェクトI・IIのテーマ設定

- 技術経営プロジェクトでは、個々の受入機関の個別具体的な課題解決をテーマとするのではなく、学術的価値の高い普遍的テーマを設定します。
- 技術経営プロジェクトI, IIを通じて受入機関が異なっても良いものの、テーマには一貫性が求められます。
- すべて公開可能な内容で成果報告（中間、最終、口頭、書面を問わず）が可能なテーマ設定とします。
- テーマそのものは指導教員が立案し、当該課題に対応した受入機関を指導教員の責任で見出し、受入条件等を交渉します。
- 受入機関と合意後、テーマと受入機関を大学院生に提示し、選択させます。
- なお、外部機関からテーマを御提案頂く場合は、指導教員まで御相談下さい。